

大河原市街地

荒川

←村田市街地

今年度の調査地点

遺跡遠景（西から）

遺物が浮きぼりにする縄文の営み

うばさわ

②姥沢遺跡（村田町沼田字姥沢）



遺跡の詳細な解説動画
はこちらから！



令和4年にみつけた
遺物包含層

西に蔵王連峰^{ざおうれんぼう}を望み、南北を小川に挟まれた丘陵の北側に位置する縄文時代の集落跡です。東北大学と村田町教育委員会により令和元年から継続して調査が行われています。

調査の結果、2箇所^{いぶつほう}で遺物を含む層（遺物包含層^{がんそう}）が確認され、黒土の箇所からは約5000～4000年前（縄文時代中期～後期）の多くの土器や石器、土製品がみつかりました。

出土品からは、遠隔地との関わりや狩猟採集^{しゅりょうさいしゅう}を行っていた様子、緻密^{ちみつ}に作られた装飾品をつけて生活していた情景がありありと目に浮かびます。

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

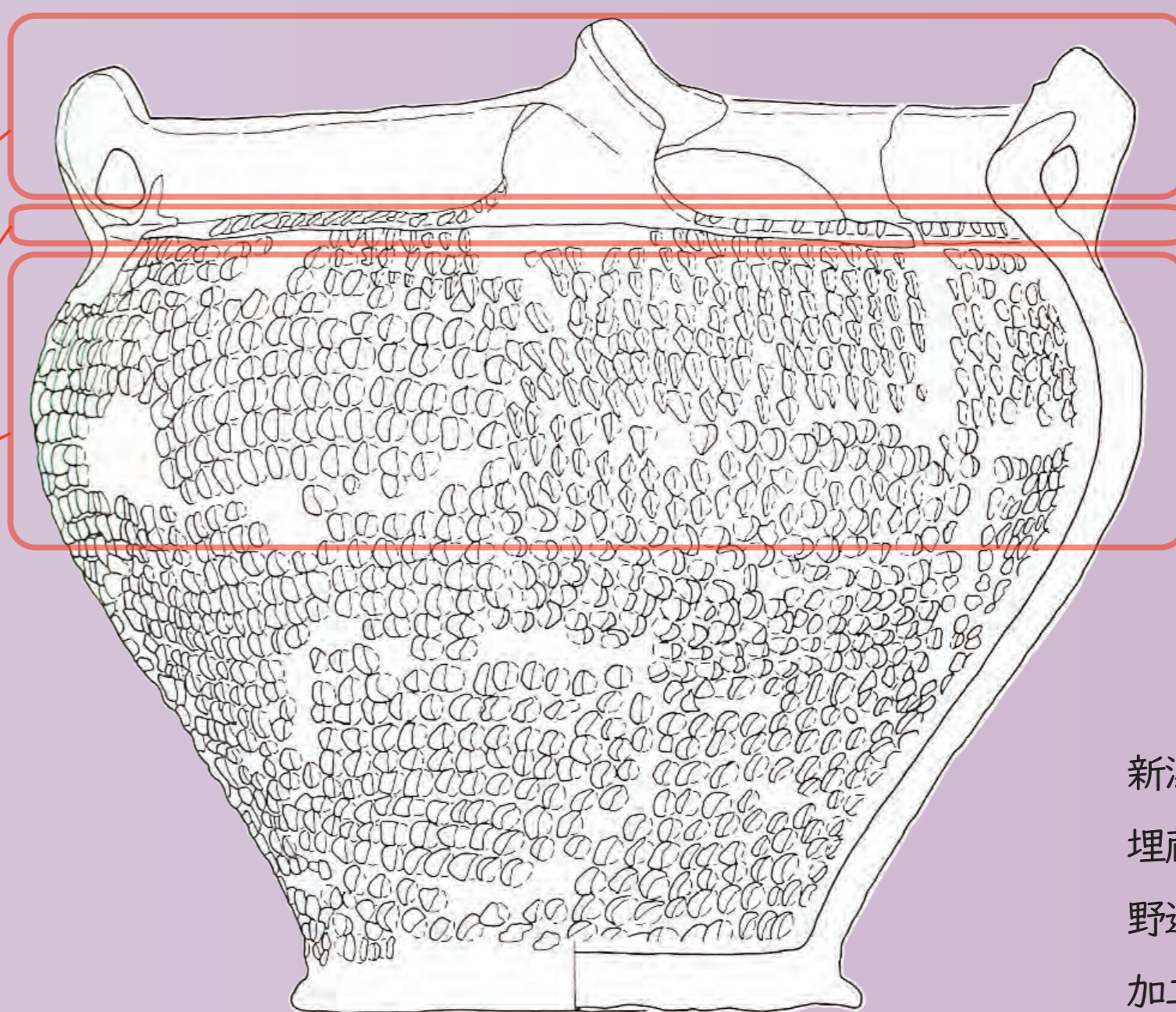
安土桃山

江戸

明治



縄文土器は様々な文様や装飾を持つものがみつかっています。



- A: 橋状把手きょうじょうとって
- B: 刻み隆帯きざりゅうたい
- C: 花弁状刺突文かべんじょうしとつもん

新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財事調査業団 2005『北野遺跡Ⅱ(上層)』より引用・一部加工

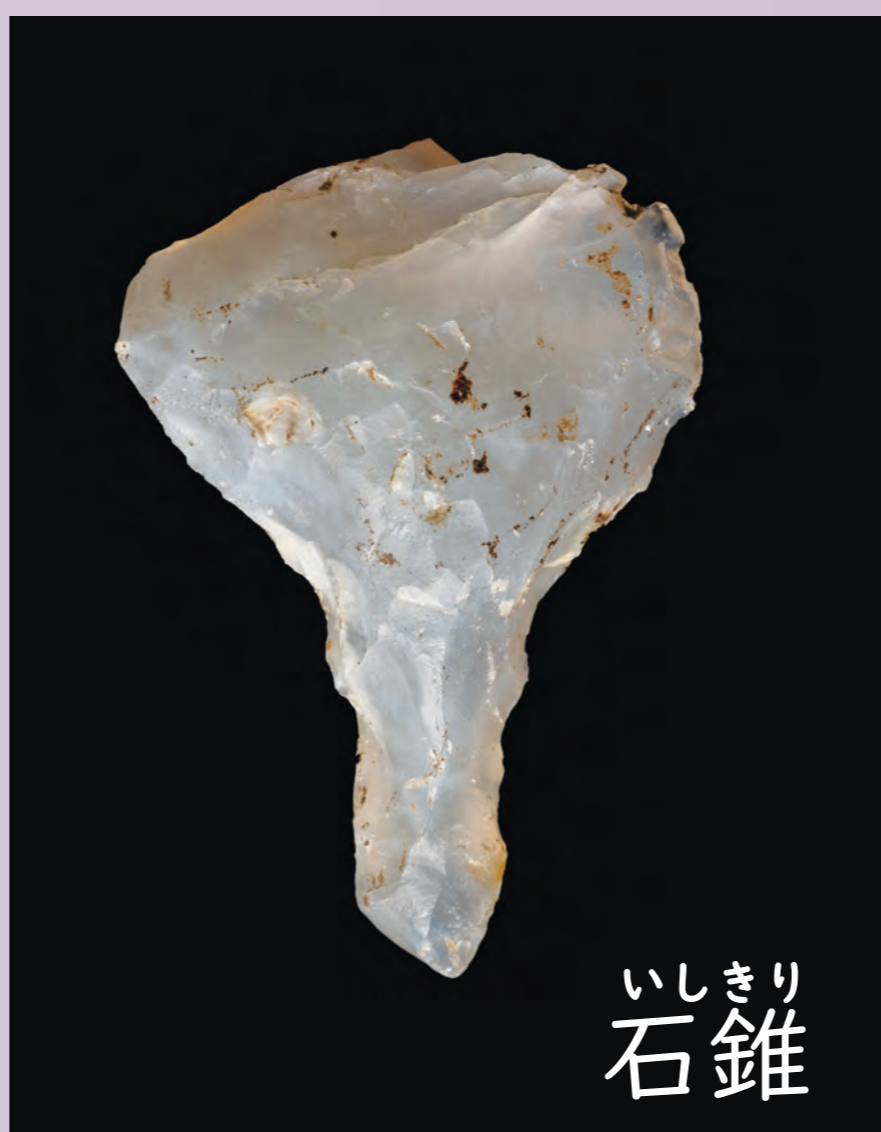
この土器は、上部の立体的な装飾(A)や中央を区画する刻み線(B)、下部の連続した点(C)に新潟県周辺の土器と共通した特徴がみられます。

新潟県上川村出土の縄文土器

縄文時代の土器には、地域・時代ごとに特徴的な形や文様がみられます。



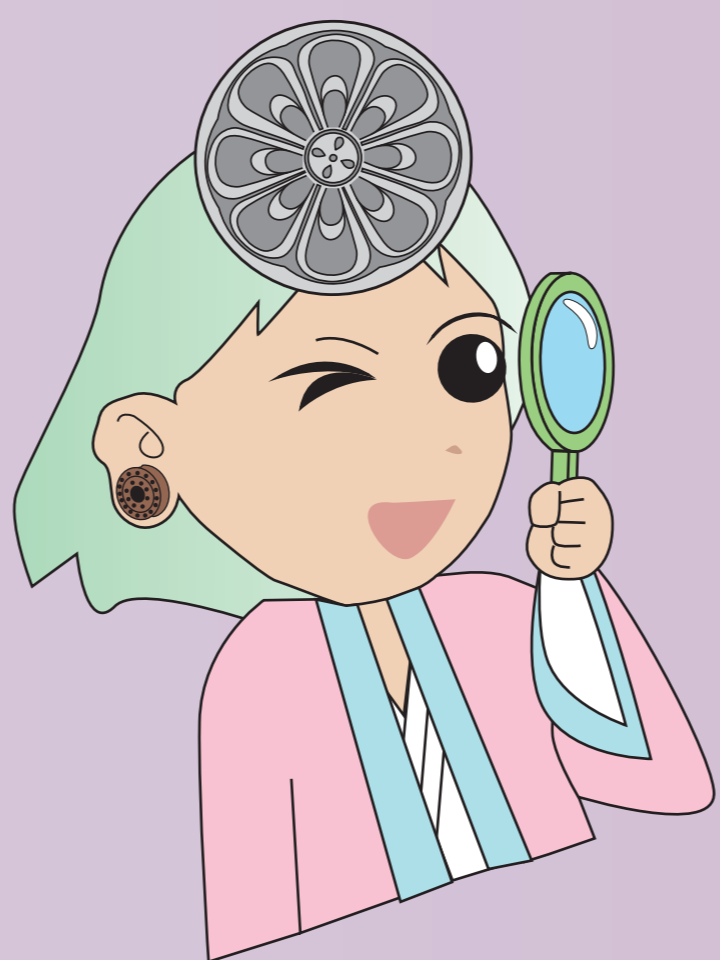
せきぞく
石鏃



いしきり
石錐

石鏃は矢の先につける石製の鏃であり、狩りに使用されていました。石錐は、動物の皮に穴をあけるために利用されたと考えられています。

色々みつまっているね!
うーんと、これは…
縄文人のアクセサリーなんだ!



土製の耳飾り

耳飾りは、耳たぶに穴を空け、はめ込んで装着する装飾品と考えられています。

協力：東北大学・村田町教育委員会